

熊本県立モンタナ大学高校生派遣事業（担当課：義務教育課グローバル人材育成推進室）

熊本県と米国モンタナ州は、今年で姉妹提携43年目を迎えます。本事業は、姉妹提携30周年を契機に平成25年度（2013年度）から始まり、今年度で13年目となりました。

本研修には県内の高校生18名が参加し、4技能の英語力向上を目的に、現地語学学校の教員による集中的な語学研修を受講しました。また、モンタナ州（ミズーラ市）と日本（熊本県）を比較しながら探究活動に取り組み、課題発見力や問題解決力を養いました。特に、モンタナ州での学びや体験を通して環境問題への理解を深め、日本や熊本の課題をグローバルな視点から捉える力を育むことができました。研修報告会では、グループごとに探究で得た学びを英語で発表しました。

研修期間 令和7年（2026年）7月19日～令和7年8月3日

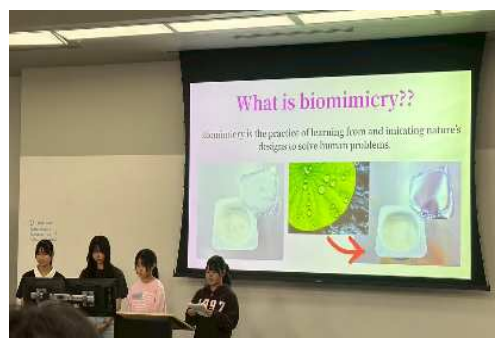
研修の様子



【語学研修】モンタナ大学で英語漬け



【探究活動】持続可能な街づくりを体感



【実践発表】社会へ向けた私たちの訴え



【小旅行】 空の消防隊を訪問！



【小旅行】世界を見渡す丘での語らい



【修了証授与式】 修了証を胸に！

助成対象者の声

- 持続可能な社会の実現には多様なアプローチがあることが分かった。
- 環境問題などを学び、日々の資源の使い方を見直すことができた。
- 英語でコミュニケーションを取ることを楽しさを感じ、もっと世界を知りたいと思った。
- スピーキングとリスニングの力が目に見えるほど上がったと感じた。
- 価値観が変わり視野が広くなり、相手の気持ちを理解する力が高まった。
- 自分から行動することの大切さを学んだ。
- 間違えることが怖くなくなった。
- 自ら行動することの大切さに気付いた。
- 国際的な場で活躍したいという夢ができた。



州立モンタナ大学

現地での活動の様子（生徒作成動画）

A班



B班



C班

